

平成21年度 新聞記事等一覧 (8月分)

掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1	8月1日 朝日新聞	307面 土曜ナントカ学 ガンダム技術で農作業 ネックは動力 パワースーツ	東京農工大学遠山教授が開発した農作業用パワースーツが紹介されるとともに、遠山教授のコメントを紹介。	共生科学技術研究院 遠山 茂樹 教授
2	8月3日 日刊工業新聞	4面 未来思考 経営戦略62 チャイワン横目に「J」-ワン	東京農工大学林教授が、中国と台湾の接近、ビジネス連携を指す造語である「チャイワン」を解説し、日本政府も台湾との連携・強化による「ものづくりイニシアチブ」の確立を「J」-ワンとして目指し、台湾のスピード経営、M&A投資と日本のモノづくりの緻密さ、ブランド展開が融合することが必要と解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
3	8月5日 農業共済新聞	8面 農家レストラン 魅力と産地の利点 東京農工大学大学院・野見山敏雄教授に聞く	東京農工大学野見山教授が、食糧自給力・自給率の向上や地域農業の活性化に向け、地産地消の取り組みの一つである農家レストランの果たす役割について、インタビュー形式によるコメントを紹介。	共生科学技術研究院 野見山 敏雄 教授
4	8月7日 日刊工業新聞	24面 認知症や肥満体質 遺伝子診断を事業化 東京農工大発プロブジン マイクロアレイ解析	東京農工大学発ベンチャー企業のプロブジーンが、肥満と認知症、免疫機能低下になりやすい体質を、DNAマイクロアレイを使った一塩基多型解析により遺伝子診断する事業を始めたと紹介。	共生科学技術研究院 田中 剛 准教授
5	8月7日 毎日新聞	11面 捨てないで 5 第2部 家庭から考える ロス削減 市民が主役	東京農工大学瀬戸名誉教授が、生ゴミの有効利用に、独自の試算を基にして、理想的な循環型社会を描くコメントを紹介。	瀬戸 昌之 名誉教授
6	8月9日 毎日新聞	10面 今週の本棚 人が学ぶイヌの知恵	東京農工大学出版会が7月に出版した「人が学ぶイヌの知恵」を紹介。	東京農工大学出版会
7	8月10日 日刊工業新聞	4面 未来思考 経営戦略63 成長の視点欠くマニフェスト	東京農工大学林教授が、政党が作成したマニフェストに対し、ジャパニーズ・ドリームとは何か、グローバルな競争という視点がないと、優良企業及び優秀な人材は海外に流出すると解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
8	8月10日 NHK総合	テレビ おはよう日本 まちかど情報局	東京農工大学遠山教授が、農作業パワースーツを紹介。	共生科学技術研究院 遠山 茂樹 教授
9	8月11日 広報ふちゅう	5面 官公庁から 東京農工大学「子どもの「樹木博士」 認定」	東京農工大学公開講座「子ども樹木博士」の開催案内。	共生科学技術研究院 戸田 浩人 教授
10	8月11日 広報ふちゅう	5面 官公庁から 東京農工大学科学博物館「子供科学 教室」	東京農工大学科学博物館「子供科学教室」の開催案内。	工学部 中澤 靖元 助教
11	8月13日 朝日新聞	25面 東京農工大生ら「別れ寂しいけれど」 チョウゲンボウ放鳥へ	東京農工大学野生動物研究会が、昨年10月から今年6月にかけて保護され、東京都環境局を通して運ばれたチョウゲンボウ4羽の世話をNPO法人と連携して担当し、野生復帰に向けたリハビリを続けたことから順調に回復しており、既に1羽を放鳥し、残り3羽も近く放鳥できる見通しと紹介。	野生動物研究会 (農学部) 本村 真也 氏(代表)
12	8月13日 時事通信	web 磁性細菌の謎に迫る = 磁石遺伝子 群、多種から獲得 - 東京農工大など	東京農工大学及び独立行政法人製品評価技術基盤機構の研究チームが、体内に数珠つなぎになった磁石の微粒子を持つ不思議な「磁性細菌」は、進化の過程で、鉄イオンなどから磁石を合成するのに必要な遺伝子群を他の細菌から獲得したとみられ、米科学誌ゲノム・リサーチ電子版に掲載されたと紹介。	共生科学技術研究院 新垣 篤史 助教
13	8月14日 日経産業新聞 (日経テレコン21)	6面 たんばく質検出用 磁性微粒子 作製費用1/10 東京農工大 新薬などに応用へ	東京農工大学松永副学長及び吉野特任准教授が、たんばく質の検出などに適した磁性微粒子を作製する新技術を開発し、従来に比べ作製プロセスが単純で、コストを10分の1以下にできると紹介。	副学長 共生科学技術研究院 松永 是 副学長 吉野 知子 特任准教授
14	8月14日 日経産業新聞	6面 磁石を作る遺伝子発見 東京農工大と製品評価機構 5細菌に共通の3カ所	東京農工大学新垣助教と独立行政法人製品評価技術基盤機構が、微小な磁石を体内につくる磁性細菌に共通する遺伝子群を発見し、磁石を合成する遺伝子を特定できたとみて詳細な解析を急ぐと紹介。	共生科学技術研究院 新垣 篤史 助教
15	8月15日 日刊工業新聞	13面 磁性細菌のゲノム解読 東京農工大など 磁石の合成解明へ	東京農工大学及び独立行政法人製品評価技術基盤機構の研究チームが、「磁性細菌」は進化の過程で鉄イオンなどから磁石を合成するのに必要な遺伝子群を他の細菌から獲得したとみられることが分かり、磁石の合成メカニズム解明が進むと期待されると紹介。	副学長 共生科学技術研究院 松永 是 副学長 新垣 篤史 助教

掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
16	8月15日 産経新聞	15面 書評倶楽部 現代の人間を考え直す契機に 人が学ぶ イヌの知恵	吉村作治サイバー大学学長が、東京農工大学出版会が7月に出版した「人が学ぶイヌの知恵」を紹介。	東京農工大学出版会
17	8月19日 読売新聞	2面 明日へ 再生 日本の絹 東京シルクを世界ブランドに	東京農工大学小此木元講師が、「多摩シルクライフ21研究会」での活動とともに、本学での指導経験を踏まえ、東京産の絹を世界ブランドにしたいとのコメントを紹介。	小此木 エツ子 氏
18	8月20日 日刊工業新聞	21面 レーザー 土壌も重要	東京農工大学濫澤教授が、医学や工学の研究者と組み、食材と健康の関係解明を目指す共同研究グループを設立し、高付加価値な生産物を、安定的に供給できるシステムを築きたいと解説。	共生科学技術研究院 濫澤 栄 教授
19	8月20日 テレビ朝日	テレビ ワイドスクランブル	東京農工大学遠山教授が、農作業パワースーツを紹介。	共生科学技術研究院 遠山 茂樹 教授
20	8月21日 朝日新聞	26面 工学の世界と日本の明日～ 「目指せ！工学女子」～女性が拓く！ 創る！	東京農工大学工学部を紹介。	共生科学技術研究院 縷織 明伯 工学府長
21	8月24日 日刊工業新聞	5面 未来思考 経営戦略64 "余裕"が生きた東名の補修	東京農工大学林教授が、震度6弱の地震により、東名高速道路の一部が崩落し不通となったことを例に、リスクマネジメントの視点から注目すべき点が二つあったと解説。さらに、余裕(のりしろ)が緊急時の選択肢を広げ、リスクを小さくすることができる。露ヶ関改革でも、インセンティブの維持を求めたいと解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
22	8月27日 朝日新聞	15面 白石さんと占師の選挙指南 一、でまかせもつけんどんもダメ 一、市民が同じ目線と感ずるよう 一、相談所を作って世間を知ること	東京農工大学広報大使の白石氏が、東京農工大学生協勤務時の「ひとことカード」への回答方法などを紹介し、政策ではなく政局の人間模様について述べているとしたら、ひとごとカード、濁点一つで意味合いが変わる。政治家の方々には、濁り無きマニフェストを掲げて下されば幸いに存じますとインタビューを紹介。	白石 昌則 広報大使
23	8月31日 日刊工業新聞	4面 未来思考 経営戦略65 選挙後の「夏休みの宿題」	東京農工大学林教授が、夏休みの宿題を例に、マニフェストは政党自らが課した計画で、「登校日」を設定し、途中経過を情報公開してほしい。それぞれの政党には政策サポートのスタッフがかわれる「仕組み」も不可欠。下野した際の浪人時代を、民間を含めて支えることで、良質な政治家と政策立案チームの育成が可能と解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
24	8月31日 日刊工業新聞	31面 モノづくりの魅力 大学院生に 多摩地域(東京)で中小見学会 西武信金と東京農工大	東京農工大学及び西武信用金庫が、2008年に「包括的連携・協力に関する協定書」を締結し、地域における産学連携支援を強化することで合意。連携のきっかけづくりと学生が中小製造業の現場を見学するチャンスをつくる事業として企画したと紹介。	産官学連携・知的財産センター 千葉 一裕 産官学連携・知的財産センター長